



平成27年度 収支予算と事業計画(要約)

平成27年度予算・事業計画のポイント

【平成27年度 重点事項】「NHK経営計画(2015-2017年度)」

1. 判断のよりどころとなる正確な報道、豊かで多彩なコンテンツを充実
2. 日本を世界に、積極的に発信(国際放送の強化)
3. 新たな可能性を開く放送・サービスを創造
4. 受信料の公平負担の徹底に向け、最大限努力
5. 創造と効率を追求する、最適な組織に改革

【平成27年度 収支予算】

- **事業収入** 受信料の増収等により、事業収入全体では前年度に対して201億円の増収
- **事業支出** 国内放送・国際放送の充実、インターネットの活用やスーパーハイビジョン等の新サービスの推進等により、事業支出全体では前年度に対して229億円の増加一方で、給与の削減をはじめ、事業運営の一層の効率化を推進
- **事業収支差金** 62億円は、全額を建設積立資産に繰入れ

収支予算(一般勘定)

(億円)

区 分	平成26年度 予算額	平成27年度 予算額	増 減 額	増 減 率
事 業 収 入	6,629	6,831	201	3.0%
受 信 料	6,428	6,608	180	2.8%
その他の事業収入	201	223	21	10.6%
事 業 支 出	6,539	6,769	229	3.5%
国内放送費	2,919	3,048	128	4.4%
国際放送費	171	225	54	31.7%
契約収納費	582	585	3	0.5%
調査研究費	99	110	11	11.6%
給 与	1,197	1,182	△ 15	△ 1.3%
退職手当・厚生費	631	648	17	2.8%
減価償却費	673	709	35	5.3%
その他の事業支出	264	259	△ 5	△ 1.9%
事業収支差金	90	62	△ 27	—
資本支出充当(建設積立資産繰入れ)	80	62	△ 17	—
収 支 過 不 足	10	—	△ 10	—
建 設 費	750	805	55	7.3%
(再掲) スーパーハイビジョン設備整備	36	77	40	112.1%

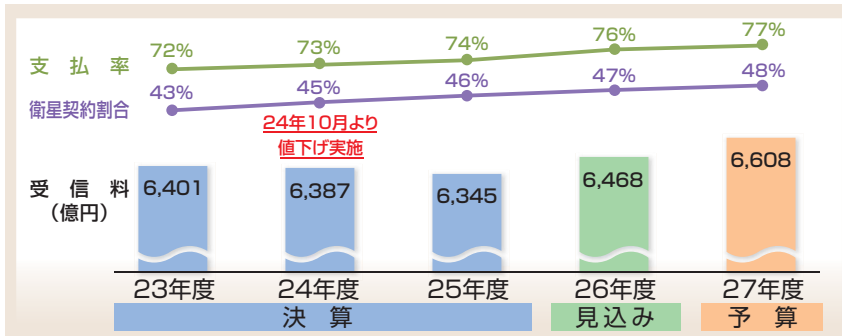
億円未満は切り捨てて表示

受信料収入 (受信契約件数の増加等により6,608億円を確保)

● 営業改革の推進により、受信料の公平負担に向けた取り組みを徹底(支払率 77%^{※1} 衛星契約割合 48%^{※2})

※1 支払率=支払数/受信契約対象数 ※2 衛星契約割合=衛星契約数/契約総数

受信料収入等の推移



受信契約件数の増減等 (万件)

区分	27年度 計画	27年度末
支払数 (A)-(B)	64	3,863
契約総数 (A)	51	3,973
未収数 (B)	△ 13	110
衛星契約数 ^{※3}	60	1,923

※3 特別契約を含む

建設積立資産と財政安定のための繰越金

〈建設積立資産の積立ての考え方〉

放送センターの建替えにあたっては、建設積立資産を極力積み立て、外部からの借入を抑制し、長期的に財政の安定化を図る。なお、積立ての考え方については、建替え計画が具体化した時点で見直す。

(億円)

区分	26年度末 見込み	27年度 増減		27年度末 見込み
		取崩し	繰入れ	
建設積立資産	1,042	—	62	1,104
財政安定のための繰越金	866	△ 65 [*]	—	801

※ スーパーハイビジョンや緊急報道、番組の充実のための設備整備等の建設費(設備投資)に使用

1. 判断のよりどころとなる正確な報道、豊かで多彩なコンテンツを充実

「命と暮らしを守る」報道に全力を挙げ、東日本大震災からの復興を積極的に支援

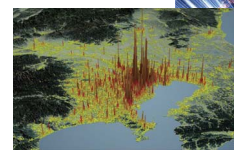
- 想定される首都直下地震など大規模災害に備え、機動的な緊急報道・制作体制の一層の強化
- デジタルの新しい技術を活用した正確で迅速な防災・減災報道を強化
- 東日本大震災から5年、被災地の復興を支援し、未来を展望する番組に継続して取り組む



航空取材体制の強化

日本や世界の課題に向き合い、新たな手法を活用して真相に迫る報道を充実

- ビッグデータの多角的分析を活用するなど、デジタルサービスと連動したニュース・番組の強化



多様な情報を重ね合わせ視覚化調査報道や減災報道に活用

視聴者の幅広い期待にこたえて、見ごたえある魅力的なコンテンツを開発・制作

主な大型番組 (総合)
 〈放送開始90年・戦後70年関連特集番組〉NHKスペシャル「生命大躍進」「戦後70年 ニッポンの肖像」
 〈高精度映像で制作する大型ドラマ〉「精霊の守り人」〈27~29年度放送予定〉

NHKG (教育)
 大河ドラマ「花燃ゆ」〈日・後8時台〉
 「まれー連続テレビ小説ー」〈月~土・前8時台〉

Eテレ
 「ミミクリーズ」〈月・後5時台〉
 「Eテレ・ジャッツ」〈火・後11時台〉

BS1
 「経済フロントライン」〈土・後10時台〉
 「美スポ! スポーツできれいに」〈土・後5時台〉

BSプレミアム
 「アナザーストーリー 運命の分岐点」〈水・後9時台〉
 「TOKYOディープ!」〈月・後7時台〉



ラジオ第1 「NHKマイあさラジオ」
 〈月~日・前5~7時台〉

ラジオ第2 「ラジオ 仕事学のすすめ」
 〈木、金・後10時台〉

NHK-FM 「N響 ザ・レジェンド」
 〈土・後7~8時台〉



「I LOVE JIMOTO 北海道」キャンペーン

放送局は、地域の「安全・安心の拠点」となり、地域活性化に積極的に貢献

- 地域の課題に向き合うニュースや番組を積極的に発信
- ラジオの発信強化など非常災害時に備えた取り組みを推進
- 地域を舞台にしたドラマ制作や公開番組等を実施
- 地域放送番組の字幕放送を拡大

2. 日本を世界に、積極的に発信（国際放送の強化）

NHKの国際放送と海外発信

NHK WORLD

テレビ	 NHKワールドTV (英語)	(外国人向けテレビ国際放送) 1日24時間 ニュース・情報番組等を放送
	 NHKワールド・ プレミアム (日本語)	(邦人向けテレビ国際放送) 1日およそ5時間 ニュースを中心にノンスクランブル放送 (テレビ番組配信) 1日およそ19時間 ドラマ、子ども番組等を配信
ラジオ	 NHKワールド・ラジオ日本	日本語と17言語での 音声サービス
インターネット	 インターネットによるサービス	ニュース・番組の動画配信、 音声やテキストの発信

NHKワールドTV(英語・外国人向け放送)

- 大型ニュース番組「NEWSROOM TOKYO」の新設
(日本時間 月～金 後8時台)

日本とアジアの1日の動きを、中継やリポートを軸に専門家や取材記者の解説を交えて、深くわかりやすく伝える



「NEWSROOM TOKYO」

- 大型討論番組「GLOBAL AGENDA」の新設
世界のオピニオンリーダーたちによる
討論を通じて、日本と世界が直面する課題の解決を提言

- 北米、アジア、欧州等の視聴傾向に合わせた効果的な番組編成

北米 大型ニュース・国際討論・ビジネス・
科学技術・ドキュメンタリー 等

アジア 大型ニュース・国際討論・旅・食・
トレンド 等

欧州 スポーツ・文化・伝統・アニメ・
エンターテインメント 等



「Journeys in Japan」

インターネットによるサービス

- 「NHKワールド」ホームページを全面的に刷新
番組の「見逃しサービス」を中心とするビデオオンデマンド(VOD)サービスの開始など
- 「NHKワールドTV」視聴アプリの機能を拡充
放送のライブ配信に加えて、ニュース記事やVOD動画の閲覧が可能に



スマートフォン/タブレット端末向けアプリ
※写真はタブレット端末画面イメージ

3. 新たな可能性を開く放送・サービスを創造

インターネット活用業務

(NHKが定める「インターネット実施基準」にのっとり実施)

- NHKが放送した番組やニュース、関連情報等の提供
- 放送と通信の連携サービス「ハイブリッドキャスト」は、24時間いつでも活用できるサービスを中心に充実
- 大規模災害時に国民の生命・財産を守る情報を放送と同時に提供するほか、試験的に一部の番組で放送と同時に提供

 **NHK Hybridcast**

ハイブリッドキャスト対応テレビをインターネットに接続して利用



(ハイブリッドキャストサービスの例)
放送とインターネット上の情報を連動して表示

o.o. NHK オンデマンド

(有料配信する動画サービス)

より多くの方にご利用いただけるよう、
コンテンツの充実や利便性の向上を推進

「見逃し番組」

「大河ドラマ」等の番組を放送から14日間程度配信

「ニュース番組」

「NHKニュース7」等のニュース番組を放送から
1週間程度「見逃し見放題パック」で配信

「特選ライブラリー」

過去の名作ドラマや大型ドキュメンタリー番組等を配信

テレビ・パソコン・携帯端末で利用可能
<http://www.nhk-ondemand.jp/>

8Kスーパーハイビジョン

- 実用化に向けた8Kスーパーハイビジョンの研究開発とパブリックビューイング等を通じた普及促進
- 8Kスーパーハイビジョンの表現力を生かした多様な高精細映像コンテンツを制作

年度	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020 (H32)
イベント	サッカーW杯 ブラジル大会		リオデ ジャネイロ 五輪	ピョンチャン 五輪	サッカーW杯 ロシア大会		東京 五輪
ロード マップ		8K実験放送開始	8K試験放送開始		8K実用放送開始		(本格普及)
	4K試験 放送開始	4K実用 放送開始					

8Kスーパーハイビジョンのロードマップ



家庭でも高臨場感を楽しめる
大型で軽量のディスプレイの研究開発

4. 受信料の公平負担の徹底に向け、最大限努力

- 営業改革を一層推進し、支払率の向上を目標に最大限努力
(29年度末「支払率80%」「衛星契約割合50%」の達成を目指す)
- 視聴者との結びつきを強化し、意見を適切に事業運営に反映



NHKふれあいセンター

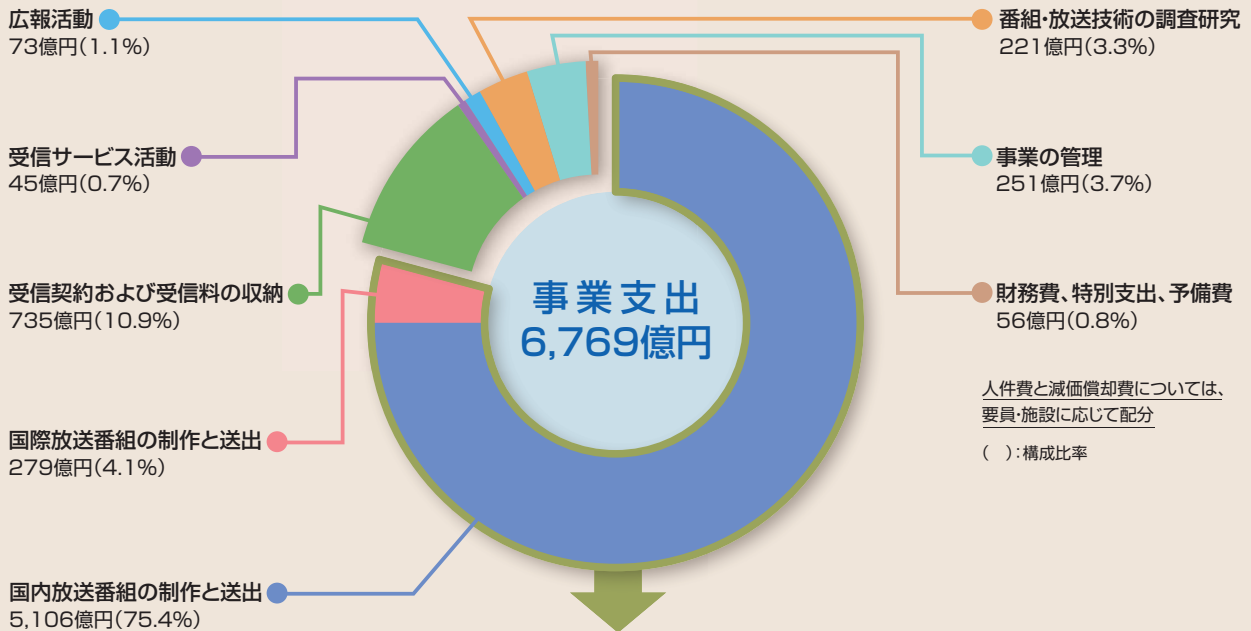


各放送局ハートプラザ

5. 創造と効率を追求する、最適な組織に改革

- NHKグループ全体の業務体制改革を推進、高度な専門性を発揮できる人材を確保・育成
- 女性の積極登用を進め、仕事と生活の調和を実現し、多様な働き方ができる組織に改革
- コンプライアンスの徹底、経営計画達成のための目標・指標管理を強化
- 環境にやさしい経営の推進、新放送センターの建設に向けた検討と準備を加速

業務別予算



チャンネル別予算

区分	合計	総合	教育 (Eテレ)	BS1	BSプレミアム	ラジオ第1	ラジオ第2	FM	テレビ国際	ラジオ国際
27年度予算	5,385	2,833	655	777	533	174	53	79	213	65
() 構成比率	(100%)	(52.6%)	(12.2%)	(14.4%)	(9.9%)	(3.2%)	(1.0%)	(1.5%)	(4.0%)	(1.2%)

[経費の配賦方法] 複数のチャンネルで放送する番組の経費については、受信契約件数や放送時間の比率等で配賦
各チャンネルに共通して係る経費については、番組制作経費や放送波数の比率等で配賦

予算や決算に関する詳しい資料はNHKのホームページでご覧になれます。

<http://www.nhk.or.jp/pr/>

もっと届け、大切なこと。
公共放送 進化中!

